I 「要求調査」から見た僻地の子供達*

塚 田 毅**
久 保 田 正 人

(1) 問 題

どの様な条件の下にある地域を「僻地」と称したらよいかということは根本的に検討を要することであるが、一般的に「僻地」の概念に含まれる条件は先ず自然的・地理的条件であり、それに対応する文化的条件、経済的条件等である***。しかし我々が教育の立場から僻地の児童・生徒の実態を知ろうとする時、重要な問題の1つとなるのは、鉄道から27キロも離れている山間の分校に学んでいる子供であるとか、生れてから一度も汽車を見たことのない子供であるとか、同学年の級友を2人しか持たない子供であるとかいうことだけでなく、その様な環境的制約の下にある生活体験が子供達の心理学的生活空間を如何に規定し、子供達の態度や行動に如何なる影響を与えているかということであろう。何となれば、僻地の子供達の生活空間と都会の子供達のそれがどの様な点で異っているかということが解るならば、我々は僻地の子供達に対する学習指導の方法を問題とする時に教師の態度や技術が如何にあるべきかを考える上の有力な手掛りが得られるであろうからである。

そこで我々は、今回の調査に当り、塚田がかつて要求に関する一研究****のために作製して若干の調査資料を有する「要求調査」(後述のA票形式)を僻地の子供達について実施し、その結果を都会児童の場合と比較して見ることにした。「要求調査」は次項に掲げる様に「ほしいもの」「したいこと」及び「なりたいたいもの」につい

て何でも可能ならという仮定の下に自由に答えさせるテストである。そこでは、要求の対象を考えて回答するに当たり、形式的には何等の制約もないところのあらゆる自由性が与えられているのであるが、その様な自由度がどの子供にとつても同様の意味をもつとは云い得ない。それが実際の行動——この場合にはこの様な質問について考えて答えること——の上にどの様に生かされるかということは、回答する子供の心理学的な生活空間の分化度の如何、即ち現実層に対して願望とか希望とか想像とかの世界の成立を可能ならしめる非現実層が如何なる程度に分化しているかによつて異つて来る場合があるであろう。そしてその様な生活空間の層構造の如何、分化度の如何を規定する条件として子供達の年齢的な発達段階と共に重要なものは、子供達の日常の生活体験でなければならない。

以上の様に考えてこの調査を実施した。そして昭和28年度に得られた鬼首・網地島両地区(宮城県)の調査結果の一部については、先頃塚田の要求と体験との相互規定性の研究に関連して発表し*、或いは他部門との共同で発表した**。ここで報告するものは、更に昭和29年度において続けて実施した東通(青森県)・沢内(岩手県)両地区の資料が加わっており、「要求調査」の手續きの上にも新たな考慮——後述のB票形式のテストの挿入——が加わっている。

(2) 手続きと結果

(A) A票による「要求調査」について

1. 調査の実施

調査対象の地区別・学年別・男女別人数はTable 3の通りである。即ち学年は小学4年・6年及び中学2年を選んだ。

* 塚田・久保田、要求と体験——第3報告、日本心理学会第18回大会報告、昭29。

** 東北大学共同研究、僻地教育の現状とその対策、日本教育学会第13回大会報告、昭29。

* Results of "Need Test" on Isolated Village School-children

** by Tsukada, Takeshi (Tohoku University) and Kubota, Masando (Tohoku University). 全体のまとめを塚田が、素材の整理を久保田が分担し、執筆には塚田が当つた。

*** (1) 文部省、わが国教育の現状——教育の機会均等を主として——、昭28, p. 94

(2) 文部省初等中等教育局、へき地教育の実態、調査報告I、昭28, p. 60 f.

**** 塚田、要求の持続度の研究、昭27、未発表。

Table 3 地区・学年・男女別調査人員

	小学4年		小学6年		中学2年*		計
	女	男	女	男	女	男	
鬼首地区	36	31	27	30	25	26	175
沢内地区	39	43	28	43	53	52	258
東通地区	27	15	26	23	11	24	126
網地島地区	44	37	37	49	31	20	218
計	146	126	118	145	120	122	777
仙 台	25	28			31	20	104
東 京	36	43	28	26			133
計	61	71	28	26	31	20	237

* 鬼首地区では都合により中学3年生を対象とした。

調査に用いた「要求調査」A票の内容はTable 4の如くである。この様な形式の質問紙に対して教室において筆答せしめた。時間の制限は設けなかったが、大体40分以内に答え終るのが普通であった。

Table 4

要 求 調 査 A			
調査日	昭和	年 月 日	学校 年 組 姓 名 満 歳 月
つぎの質問に思つたとおり答えて下さい			
(1)	もしあなたは何でも手に入るとしたら		
	一ばんほしいものは何ですか	()	
	二ばんめにほしいものは何ですか	()	
	三ばんめにほしいものは何ですか	()	
(2)	もしあなたは何でもできるとしたら		
	一ばんしたいことは何ですか	()	
	二ばんめにしたいことは何ですか	()	
	三ばんめにしたいことは何ですか	()	
(3)	もしあなたは何にでもなれるとしたら		
	一ばんなりたいたいものは何ですか	()	
	二ばんめになりたいものは何ですか	()	
	三ばんめになりたいものは何ですか	()	

(漢字にはかなを付けてあり、また一通り読ん
できさせた)

この調査は成績等に関係しないことを説明し、できるだけ気楽な空気の中で答えさせる様に配慮した。質問事項の説明の際趣旨を子供達によく納得させるために、4年生では担任教師から方言等をまじえたくだけた説明をしてもらったこともある。

調査者は教室にいて適宜質問に答える様にした(例え

ば「どこにもないものを書いてもいいですか」と問われれば、「実際になくても欲しいと思う物なら何でもよい」と答える)。

2. 結果の整理

a 回答の種類と頻数から見た各地区の傾向

先ず得られた多様な語彙を見易い様に整理した。ここでは個人の特徴を当面の問題とせず、全体の傾向をつかもうとしたのである。答は1人1問について3箇が原則となっている。これを分類するのに、1人が3つずつ書いている答をばらして、例えば鬼首地区の4年生の男のものとして一緒にして取扱った。この際、1つの質問に対して出て来る3つの答の序列は特に問題に仕なかつた。1問について3つずつ書かせる様にしたのは、なるべく広く傾向を見ようとしたためである。

分類項目は次の2つの規準によつて立てた。イ)なるべく客観的・記述的に分類項目を作ること。ロ)答の中に出現する頻数の多いものを項目として立てること。だから細い具体的な項目が抽象的な項目と並ぶこともある。この様にしてTable 5, 6, 7が作られたが、反応語が種々様々であることと時間や人手の不足等から、項目の設定に精粗や交錯があり、筆者自身にとつても十分満足なものとはなっていない。なおこの様に整理して見ると、後に述べる如き我々がここで特に取り上げる傾向以外にも色々注目すべき点があるので、繁をいとわず全項目について表示してある。地区は左から山村(鬼首・沢内)・漁村(東通・網地島)・都会の順に並べた。各学年男女の欄で女が先に来ている訳は「考察」の所で述べる。

以下表の項目について必要と思われる説明を行う。

第1問(ほしいもの)——Table 5

1. 1. [学用品]「学用品」・「勉強の道具」等と答えたもの。

1. 2. 鉛筆・けしごむ・帳面・下敷等、細々とした普通誰でも持っているもの。

2. 1. [本]単に「本」と答えたもの。

2. 2. [規定詞のついたもの]雑誌・小説・「為になる本」等。

3. [身につけるもの]着物・洋服・オーバー・靴下等。

4. [身の廻りの品]漠然とした項目で、机・本箱・家庭用品・靴等が入る。

5. 立派な家・勉強部屋等。

8. 1. [単純なもの]お手玉・めんこ・おはじき等。

8. 2. [比較的手のこんだもの]汽車模型・捕虫網等。

12. 2. [ハモニカ・木琴等]は12. 1. に対して比較的入手容易で大衆的なものである。

Table 5

第1問 ほしいもの		鬼首地区 (宮城県)						沢内地区 (岩手県)					
		小学4年		小学6年		中学3年		小学4年		小学6年		中学2年	
		女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
1	学用品 { 1. 学用品 2. 鉛筆, けしごむ, 帳面の類	2.6	1.1	2.5	1.1	6.3	1.3	0.9	3.8	4.8	4.7	3.1	2.6
		32.4	24.7	1.2	2.2	5.3	0	6.8	7.6	1.2	0	0	0
2	本 { 1. 本 2. 規定詞のついたもの	15.7	8.6	9.9	8.9	0	2.6	6.0	7.6	5.0	5.5	5.7	3.2
		0	8.6	4.8	3.3	6.3	5.1	12.0	6.8	17.9	6.2	6.9	7.7
3	身につけるもの	25.9	3.2	32.1	5.6	17.4	3.9	32.5	3.8	22.7	5.5	21.4	3.2
4	身の廻りの品	3.7	4.3	2.5	2.2	2.7	2.6	8.6	6.1	9.5	2.3	5.0	1.3
5	家, 部屋	0.9	0	2.5	1.1	2.7	0	0	1.5	1.2	3.1	4.4	4.5
6	金, 財産	0	2.7	8.7	7.8	4.0	5.1	4.3	6.8	5.0	6.2	6.9	2.6
7	宝石	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.6	0	0
8	あそび道具 { 1. 単純なもの 2. 手のこんだもの	10.2	8.6	0	2.2	0	0	5.1	0	2.4	1.6	0	1.3
		0	0	0	0	0	0	0.9	1.5	0	1.6	0	3.8
9	人 形	0.9	2.2	3.7	0	1.3	0	3.4	0	3.6	0	0	0
10	スポーツ用品 { 1. 野球用 2. その他	0	12.9	0	17.8	0	0	0	6.8	0	13.2	0	8.4
		0.9	2.2	1.2	7.8	0	1.3	3.4	0.8	1.2	1.5	2.0	2.6
11	絵画材料	0	0	0	0	0	0	2.6	1.5	1.2	0	0	0
12	楽器 { 1. ピアノ, オルガン等 2. ハーモニカ, 木琴等	0.9	1.1	4.9	1.1	2.7	0	0.9	1.5	2.4	1.6	1.2	0
		0	0	0	1.1	2.7	2.6	0	0	1.2	4.7	8.8	3.2
13	裁縫道具 { 1. ミシン 2. その他	0	0	1.2	0	10.7	0	2.6	0	1.2	0	5.7	0
		0	0	0	0	1.3	0	1.7	0.8	0	0	0.6	1.3
	1. ラジオ	0	1.1	0	5.6	0	3.9	0	0	1.2	2.3	2.0	1.9
	2. テレビ	0	0	4.5	6.8	4.8	0	0	0.8	1.2	1.6	0.6	3.8
14	文化的備品 { 3. 時計 4. カメラ 5. その他	0	0	0	0	0	16.9	0	3.8	0	3.1	0	3.2
		0	1.1	0	1.1	0	17.9	0.9	0	0	0.8	0.6	1.3
		0	1.1	0	2.2	0	0	0	0	2.4	1.6	0.6	0.6
15	船	0	0	2.5	2.2	0	0	2.6	2.3	0	3.1	2.0	4.5
16	車 { 1. 自転車 2. 自動車その他	0	1.1	0	1.1	9.4	23.1	0	0	1.2	7.0	0.6	5.8
		0	1.1	2.5	7.8	0	2.6	0	5.3	0	4.7	0.6	10.9
17	飛行機	0	1.1	0	3.3	0	0	0.9	0	0	1.6	0.6	6.4
18	機械類	0	0	0	0	0	0	0	5.3	0	7.0	0	3.2
19	動物	0.9	0	0	1.1	0	0	0	0.8	0	1.6	0.6	0
20	植物	0	0	0	0	0	0	0	0.8	0	0	1.2	0
21	たべもの	3.7	3.2	2.5	0	1.3	3.9	0	2.3	3.6	1.6	1.2	0.6
22	魔法	0	0	0	0	0	0	0.9	2.3	0	0	0	0.6
23	精神や能力	0	0	0	0	0	0	0	1.5	0	0	2.0	1.9
24	その他	0.4	4.4	1.7	0	0	1.1	1.7	4.6	0	0.8	2.5	3.2
	なし	0	0	0	0	0	0	1.7	0	3.6	1.6	2.5	1.9
	無答	0.9	4.3	9.9	11.1	22.7	5.1	0.9	0.8	3.6	1.6	0	1.3
	?	0	2.2	1.2	0	1.3	1.3	0.9	3.0	0	0.8	0	0
総 実 数		108	93	81	90	75	78	117	132	84	129	159	159

15. 汽船・ボート等。

16. 2. 汽車・電車等も含む。

19. 〔動物〕馬・犬・鳥等。

20. 〔植物〕木・草花等。

21. 「たべもの」・米・チョコレート等。

22. 魔法の杖・忍術の巻物等。

東 通 地 区 (青森県)						網 地 島 地 区 (宮城県)						都 会											
小学4年		小学6年		中学2年		小学4年		小学6年		中学2年		東 京 小 学 4 年		仙 台 小 学 4 年		東 京 小 学 6 年		仙 台 中 学 2 年					
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
2.5	0	2.6	0	0	0	2.3	0.9	10.1	4.1	11.1	1.7	2.8	1.6	1.3	0	1.2	2.6	1.1	1.7				
6.2	6.7	3.8	1.4	0	0	12.1	7.2	3.6	2.0	0	0	0	0	0	0	1.2	0	0	0				
4.9	4.4	6.4	8.7	0	1.4	12.1	14.4	10.1	5.5	8.0	10.0	5.6	3.1	5.3	0	4.7	1.3	1.1	5.0				
11.1	0	3.8	2.9	6.1	8.3	6.8	3.6	17.5	8.2	4.8	3.3	0.9	2.3	0	6.0	11.9	0	5.4	10.0				
29.6	2.2	33.4	15.9	18.2	5.6	5.0	9.5	2.7	12.6	2.7	6.8	9.3	2.3	13.4	3.6	11.9	2.6	49.5	0				
6.2	4.4	11.5	2.9	0	2.8	7.6	2.7	6.3	2.7	1.6	0	8.3	1.6	14.7	2.4	8.4	1.3	18.3	0				
0	0	0	0	3.0	8.3	0.8	0.9	0	5.5	8.0	1.7	7.4	3.9	5.3	1.2	9.5	9.0	2.2	0				
2.5	6.7	5.1	8.7	6.1	5.6	6.8	6.3	6.3	6.8	8.0	6.7	6.5	9.3	2.7	7.2	4.8	6.4	1.1	0				
0	0	0	1.4	0	1.4	0	0	0	0	0	0	0	0.8	0	0	0	0	0	0				
1.2	2.2	1.3	1.4	0	0	4.6	0	0	0	1.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
2.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.8	0.8	0	2.4	0	3.9	0	21.6				
1.2	0	0	0	0	0	3.0	0	1.8	0	0	0	4.6	0	8.0	0	2.4	0	3.2	0				
0	0	0	1.4	0	1.4	0	7.2	0	8.2	0	1.7	0	8.5	0	7.2	0	11.5	0	0				
2.5	4.4	0	0	0	2.8	2.8	0.9	2.7	1.4	1.6	1.7	0	6.2	0	13.1	0	1.3	0	0				
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.9	0.8	0	0	0	0	0	0				
2.5	0	3.8	0	3.0	1.4	3.8	1.8	5.4	0.7	4.8	0	8.3	0	20.0	2.4	7.2	0	7.5	0				
1.2	2.2	0	4.3	0	0	1.5	9.0	4.5	8.8	0	0	0.9	0	2.7	0	1.2	1.3	2.2	0				
4.9	0	11.5	0	18.2	0	0	0	1.8	0	11.1	0	0.9	0.8	5.3	0	2.4	0	4.3	0				
0	0	0	0	0	0	0	1.6	0	0	0	0	0	0	1.3	0	1.2	0	0	0				
2.5	4.4	1.3	0	6.1	4.2	0.8	0.9	0.9	0.7	0	6.7	0.9	0.8	0	0	0	2.6	0	0				
0	0	0	1.4	0	0	0	0	4.5	6.8	4.8	0	11.1	7.8	0	0	0	1.3	0	0				
1.2	2.2	2.6	0	3.0	1.4	0	0	0	0	0	0	0	2.3	0	0	0	2.6	0	0				
0	2.2	0	4.3	0	0	0.8	0	0	6.7	1.6	5.0	0.9	3.1	0	2.4	0	6.4	0	1.7				
0	0	2.6	1.4	0	0	0	0.9	0	6.7	0	1.7	3.7	1.6	0	0	1.2	2.6	1.1	10.0				
0	6.7	2.6	2.9	0	4.2	0	2.7	0	6.8	0	10.0	0	0	0	0	0	1.3	0	1.7				
0	2.2	0	2.9	15.1	11.1	1.5	5.4	0.9	2.7	0	6.7	5.6	9.3	10.7	26.2	4.8	0	3.2	10.0				
2.5	13.3	0	11.6	3.0	13.9	0.8	3.6	0.9	6.1	1.6	6.7	4.6	10.1	0	10.7	1.2	7.7	0	28.2				
0	4.4	0	5.8	0	1.4	0	3.6	2.7	1.4	0	5.0	0	3.9	0	10.7	0	10.3	0	6.7				
1.2	2.2	0	0	0	4.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
2.5	6.7	0	0	0	0	0	0.9	0	1.4	0	1.7	0	0	0	0	1.2	0	0	1.7				
1.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.9	0	1.3	0	0	0	0	0				
21.0	22.1	6.4	0	6.1	5.6	12.1	6.3	2.7	4.1	1.6	1.7	0	6.2	0	0	4.8	2.6	0	0				
0	0	0	0	0	0	1.5	5.4	0	0.7	0	0	0	0.8	0	0	0	1.3	0	0				
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.4	0	0	0				
4.9	0	2.6	11.6	9.1	4.2	11.3	0	11.9	0	25.9	19.8	3.7	5.4	1.3	1.2	13.1	7.7	0	1.7				
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
2.5	0	0	0	0	2.8	2.2	4.6	2.7	0.7	1.6	0	8.3	7.0	6.7	3.6	3.6	0	0	0				
0	0	0	0	0	0	0	1.8	0	8.3	0	1.7	0.9	0	0	0	1.3	0	0	0				
81	45	78	69	33	72	132	111	111	147	63	60	108	129	75	84	84	78	93	60				

23. 「精神や能力」力・やさしい心等。

げた。

24. 「その他」他の項に入らないもので、比較的まれに出て来るものは、すべてここに一括して実数のみを挙

げた。【なし】の項目には「ありません」・「ない」という答が入り、

Table 6

第2問 したいこと	鬼首地区						沢内地区					
	小学4年		小学6年		中学3年		小学4年		小学6年		中学2年	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
1 手伝いや仕事	20.4	18.3	16.0	3.3	2.7	0	27.4	12.9	21.5	0	5.0	0
2 勉強 { 1. 勉強	13.9	10.8	8.7	10.0	2.7	0	16.2	10.6	16.7	13.2	8.8	3.8
2 { 2. 学科別にあげたもの	6.5	3.2	8.7	1.1	2.7	0	1.7	5.3	2.4	0	3.8	0.6
3 肉体労働的職業	0.9	3.2	1.2	1.1	0	2.6	1.7	3.0	2.4	9.3	1.2	3.8
4 乗物の運転	0	3.2	1.2	21.1	5.3	12.8	0.9	12.9	2.4	11.6	4.4	12.2
5 簡単な子供のあそび	16.7	5.4	3.7	2.2	0	0	6.0	9.1	7.2	2.3	3.1	0.6
6 種々のレクリエーション	7.4	9.7	16.0	13.3	4.0	2.6	5.1	5.3	2.4	4.7	0.6	6.4
7 スポーツ { 1. 運動	0.9	1.1	1.2	3.3	5.3	1.3	0.9	1.5	2.4	3.1	0	3.8
	0	11.8	1.2	13.3	0	10.3	0	9.1	1.2	12.4	0	11.6
	1.9	1.1	1.2	2.2	5.3	7.7	0.9	2.3	10.7	0.8	0.6	2.6
	0.9	7.6	0	1.1	0	6.4	0	0	0	6.2	0	5.1
8 舞踊	0.9	0	2.5	0	2.7	0	0	0	0	0	0.6	0
9 音楽	0.9	0	0	0	0	0	0.9	0.8	1.2	0	3.8	1.3
10 裁縫, したて, そめもの	1.9	0	8.7	0	6.7	0	6.0	0.8	1.2	0	7.6	0
11 種々の職業 { 1. 先生	0.9	2.2	1.2	6.7	0	0	0.9	3.8	1.2	0	2.0	1.3
	0	0	0	0	0	0	0	1.5	0	2.3	0	0
	4.6	1.1	3.7	0	0	0	3.4	0	2.4	0	6.9	4.5
	0	0	0	1.1	0	0	0.9	3.8	4.8	6.2	4.4	5.1
12 機械関係	0	0	0	0	0	0	0	0	1.2	3.9	0	1.3
13 旅行 { 1. 国内	0	0	0	1.1	0	6.4	0	0	0	0.8	2.0	0.6
	0	0	0	0	2.7	7.7	0	0	0	3.9	1.2	1.9
	1.9	0	1.2	1.1	0	2.6	0	0	0	0	2.0	4.5
14 社会についての希望	1.9	0	3.7	0	0	0	0.9	0	0	0	0.6	4.5
15 自分についての希望	0.9	0	1.2	0	0	0	0.9	3.0	2.4	0.8	3.1	1.9
16 家庭的関心	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.6	0.6
17 研究発明	2.8	0	0	0	0	0	0	0.8	4.8	0.8	0.6	4.5
18 探検冒険	0	0	1.2	0	0	2.6	0	0	0	0	0.6	3.2
19 忍術, 空想的行為	0	0	0	0	0	0	0	2.3	0	0	0	1.3
その他	5.8	5.3	0	0	0	5.2	12.8	5.3	4.8	8.6	3.1	7.1
なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.8	1.2	0
無答	7.4	14.0	16.3	17.8	60.0	28.3	11.1	3.0	4.8	10.8	13.2	5.1
?	0.9	2.2	0	0	0	2.6	1.7	3.8	0	0.8	0	1.3
総 実 数	108	93	81	90	75	78	117	132	84	129	159	156

〔無答〕は回答がなかったことを示す。大体2番目や3番目が書いてないものである。

〔?〕は判読できなかった答。多くは知能の低い者に見られる。

第2問(したいこと)——Table 6

1. 〔手伝いや仕事〕「てつだい」・「うちのしごと」・庭はき・るすばん・子守り・御飯たき・水くみ・田かき・たき木しよい等の答。

2. 1. 単に「勉強」と答えたもの。

2. 2. 国語・社会・理科等と答えたもの。

3. 〔肉体労働的職業〕土方・百姓・りょうし(漁夫)等。

4. 〔乗物の運転〕自転車から飛行機まで含む。

5. なわとび・かくれんぼ等。

6. 運動会・遠足・花造り・トランプ等種類が多い。

7. 4. の中には剣道・柔道が入っている。

東 通 地 区						網 地 島 地 区						都 会											
小学4年		小学6年		中学2年		小学4年		小学6年		中学2年		東 小学4年		京 小学4年		東 小学6年		京 小学6年		仙 中学2年		台 中学2年	
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男		
17.3	15.5	3.8	0	6.1	2.8	25.0	8.1	13.4	2.7	0	0	3.7	3.9	0	0	3.6	0	0	0	0	0		
9.9	4.4	3.8	11.6	3.0	0	13.6	7.2	12.5	8.9	9.5	10.0	7.4	4.7	2.7	2.4	6.0	3.9	4.3	0	0	0		
7.4	13.3	6.4	0	0	2.8	3.8	4.5	8.1	5.5	8.0	1.7	2.8	10.1	1.3	0	1.2	1.3	1.1	0	0	0		
7.4	17.8	1.3	17.4	3.0	13.9	3.8	3.6	0.9	7.5	0	1.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
0	13.3	6.4	10.1	0	5.6	0.8	1.8	0	2.7	0	6.7	2.8	6.2	2.7	7.2	2.4	7.7	0	45.0	0	0		
16.1	17.8	0	1.4	0	0	10.6	4.5	0.9	1.4	1.6	1.7	3.7	3.1	4.0	0	1.2	0	0	0	0	0		
3.7	2.2	2.6	8.7	6.1	2.8	3.0	13.5	0	3.4	1.6	6.7	4.6	7.0	9.4	3.6	4.7	3.9	0	1.7	0	1.7		
0	0	1.3	2.9	0	2.8	0	0	1.8	1.5	4.8	3.3	1.9	0.8	0	0	0	1.3	1.1	0	0	0		
0	4.4	0	1.4	0	1.4	0	11.7	0	12.9	0	1.7	0	6.2	0	11.9	0	0	0	0	0	0		
0	0	6.4	0	9.1	0	5.3	2.7	0.9	5.5	27.0	3.3	0.9	1.6	2.7	1.2	0	1.3	0	0	0	0		
0	0	1.3	1.4	0	1.4	0.8	3.6	0	6.8	0	0	0	8.5	4.0	19.1	0	18.0	3.2	6.7	0	0		
1.2	0	1.3	0	3.0	0	0	0	1.8	0	0	0	3.7	0	6.7	0	8.4	0	6.5	0	0	0		
2.5	0	11.5	1.4	3.0	0	0.8	0.9	0.9	2.7	0	0	4.6	1.6	1.3	0	6.0	0	6.5	0	0	0		
6.2	0	9.0	0	21.2	1.4	3.0	0	12.6	0	16.2	0	6.5	0	4.0	0	3.6	0	19.4	0	0	0		
0	8.9	6.4	1.4	9.1	1.4	2.3	6.3	1.8	0.7	6.4	1.7	0	0	0	0	1.2	1.3	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0	0	0.9	0.9	0	0	0	0	0	0	0	1.2	1.3	1.1	1.7	0	0		
7.4	0	5.1	1.4	0	6.9	0	0	0	0	0	0	0.9	2.3	2.7	0	1.2	0	0	0	0	0		
0	0	9.0	1.4	15.1	18.1	1.5	3.6	0	0	1.6	0	0	1.6	4.0	0	0	5.1	1.1	0	0	0		
2.5	2.2	0	4.3	0	4.2	0	0	0	0	0	0	0	0.8	0	0	0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	1.6	1.7	0	0	0	0	1.2	1.3	0	0	0	0		
0	0	1.3	1.4	0	2.8	0	0.9	0	0	1.6	6.7	5.6	1.6	0	1.2	4.8	1.3	1.1	10.0	0	0		
0	0	2.6	0	6.1	1.4	0	0.9	0.9	0.7	1.6	5.0	0.9	0	0	0	1.3	0	0	0	0	0		
0	2.2	5.1	1.4	3.0	0	3.8	1.8	0.9	8.9	6.4	3.3	6.5	5.4	0	0	8.4	1.3	0	0	0	0		
0	0	3.4	1.4	0	1.4	6.8	0.9	5.4	0	1.6	0	0.9	2.3	0	0	6.0	1.3	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0	3.0	0.9	3.6	0	6.4	0	1.9	0	0	0	11.9	0	1.1	0	0	0		
0	6.7	2.6	5.8	0	2.8	0	0.9	0	4.1	0	8.4	0	2.3	5.3	1.2	0	5.1	0	3.3	0	3.3		
0	0	0	1.4	0	0	0	0	0	0	0	3.3	0	0.8	1.3	1.2	0	5.1	0	5.0	0	5.0		
0	2.2	0	2.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.8	0	0	0	1.3	0	0	0	0		
9.9	2.2	0	10.1	6.1	13.9	5.3	11.7	21.6	15.0	0	23.3	4.6	5.4	2.7	7.2	10.7	11.5	2.2	21.6	0	21.6		
0	0	0	1.4	0	0	0	0	0	0	0	0	2.8	1.6	0	0	0	0	0	0	0	0		
12.3	0	9.0	10.1	9.1	9.7	4.6	5.4	9.9	4.8	3.2	6.7	33.4	21.8	45.3	44.0	16.7	0	51.6	5.0	0	5.0		
0	0	0	0	0	0	2.3	2.7	1.8	2.7	0	1.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
81	45	78	69	33	72	132	111	111	147	63	60	108	129	75	84	84	78	93	60	0	0		

12.〔機械関係〕生産機械・計測機械等を扱うこと。

14.〔社会についての希望〕戦争をなくすこと・学校をよくすること等。

15.〔自分についての希望〕えらくなること・字が上手になること等。

16.〔家庭的関心〕「母を楽にしたい」というもの等。

第3問（なりたいもの）——Table 7

1. なりたいものの所へ更に水くみ・庭はき等と答え

たもの。第2問に「御飯たきをしたい」と答え、ここで「御飯たきになりたい」と答えている様なものもある。

6.〔商売屋〕「おみせや」・菓子屋・雑貨屋等。

7.〔文化的職業〕は、映画監督・ラジオ屋・アナウンサー等。

10. には社長も社員も入れた。

これらの分類項目におさめた後、実数を百分率になおす。例えば鬼首、小学4年、女は1問について回答の総

Table 7

第3問 なりたいもの	鬼 首 地 区						沢 内 地 区					
	小学4年		小学6年		中学3年		小学4年		小学6年		中学2年	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
1 2問における「手伝いや仕事」の反復	14.8	3.2	1.2	0	1.3	0	4.3	0	0	0.8	0	0
2 2問における「勉強」の反復	5.6	0	1.2	0	1.3	0	5.1	0	0	0	0	0
3 その他2問に入れるべき答	0	2.2	2.5	0	0	0	9.4	10.6	1.2	0.8	0	3.8
4 1問に入れるべき答	1.8	4.3	1.4	1.1	0	0	6.9	3.0	2.4	0	0	0.6
5 肉体労働的職業 { 1. 大工 2. 農業 3. その他	0.9	4.3	0	5.6	0	0	0.9	4.6	0	2.3	0	6.4
	2.8	4.3	3.7	1.1	0	0	3.4	3.0	13.1	2.3	1.2	4.5
	0.9	3.2	0	6.7	0	1.3	0.9	3.8	0	1.6	0	0.1
6 商売屋	4.6	7.6	4.9	0	0	3.9	7.7	2.3	9.5	7.0	6.3	3.8
7 文化的職業	0	0	1.2	1.1	1.3	0	0	0.8	0	6.2	1.2	7.1
8 政治家	0	0	1.2	1.1	0	3.9	0	0	0	0	0	0.6
9 船の職業	0	0	0	3.3	0	2.5	0	0.8	0	0.8	0	1.9
10 勤め人、会社関係	1.9	0	1.2	3.3	0	3.6	0	0	1.2	2.3	2.5	9.0
11 技術者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.6	0	3.8
12 学校関係 { 1. 校長 2. 先生 3. 役員 4. 上級学生	0.9	0	0	1.1	0	0	0	0	0	0	0	0.6
	10.0	8.6	9.9	7.8	2.7	2.6	13.7	13.7	14.3	10.9	6.3	5.1
	0.9	0	0	0	0	0	0	0.8	0	0	0	0.6
	1.9	0	0	0	0	0	0.9	4.6	1.2	0.8	2.0	0
13 学者研究家	0	0	0	0	0	0	0	3.0	4.8	7.0	5.0	5.1
14 医 者	0.9	1.1	0	1.1	0	0	0	0.8	0	4.7	0	0.6
15 運転関係	0.9	14.0	0	8.9	0	10.3	7.7	13.7	14.3	14.7	6.3	12.8
16 スポーツ選手	0	3.2	14.8	5.6	0	3.9	0.9	7.6	1.2	10.8	0	19.2
17 婦人職業	6.5	0	3.7	0	29.4	0	15.4	0	13.1	0	31.0	0
18 芸術芸能関係	0.9	0	4.9	1.1	2.6	0	3.4	0.8	4.8	0	12.6	3.8
19 金 持	0	0	7.4	0	0	0	0	0	0	0.8	0.6	0
20 自己の向上	0.9	1.1	1.2	2.2	1.3	0	0.9	1.5	6.0	4.7	5.0	1.3
21 天皇、王様等	0	0	1.2	1.1	0	0	0	0	0	0	0.6	0
22 動物、植物	0	0	0	2.2	0	0	0	2.3	0	0	0	0.6
23 魔法使	0	0	0	0	0	3.9	0	2.3	0	1.6	0	0
24 兵隊、警官	0	6.5	1.2	2.2	0	0	0	5.3	0	1.6	0	0
その他	14.8	4.3	2.9	6.7	1.3	22.0	4.3	3.8	4.8	0.8	6.9	4.5
なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.6	0
無 答	21.3	31.2	32.1	33.3	58.6	40.0	14.5	11.4	8.4	13.9	12.6	1.9
?	6.5	1.1	0	3.3	0	2.6	0	0	0	0	0	0
総 実 数	108	93	81	90	75	78	117	132	84	129	159	156

数が108個(人数はその半である)であつたので、108をベースにした百分率である。これは全く表を見易くするための措置である。

なお、東京と仙台の学校から得た結果を比較のために並べたが、調査校は東京都四谷第六小学校・仙台市八幡小学校及び東仙台中学校であつて、都会のごく普通の学校である。

b 個人別の類型からの分類

Table 5. 6. 7 においては、例えば2問の1「手伝いや仕事」の答が何%あつたかは解るが、1人の子供についての3つの答が全部手伝いや仕事である場合と、1つだけが手伝いや仕事で、あとは別種の答をしている場合との違いをぬりつぶしている。当然1人1人について内容を検討した結果をまとめなければならない。

東 通 地 区						網 地 島 地 区						都 会							
小学4年		小学6年		中学2年		小学4年		小学6年		中学2年		東 京 小学4年		仙 台 小学4年		東 京 小学6年		仙 台 中学2年	
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
3.7	2.2	0	0	0	0	11.4	3.6	5.5	1.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	1.3	1.4	0	0	4.6	3.6	6.4	11.6	1.6	1.7	0	0	0	0	0	0	0	0
12.3	0	1.3	2.9	3.0	1.4	3.0	4.5	5.5	6.8	1.6	0	4.6	0.8	0	0	0	0	0	0
3.7	4.4	1.3	1.4	0	1.4	3.0	3.6	3.7	0	0	0	0.9	3.1	0	0	0	0	3.2	0
0	4.4	0	4.3	0	4.2	0	1.8	0	0.7	0	1.7	0	1.6	0	0	0	0	0	0
1.2	0	0	1.4	3.0	4.2	2.3	0.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	11.1	0	10.1	3.0	11.1	0	14.4	0	11.7	0	3.3	0	0	0	0	0	0	0	0
11.1	2.2	5.1	0	12.1	8.3	3.8	1.8	0.9	0	0	0	3.7	4.7	1.3	1.2	3.6	2.6	0	0
0	0	0	2.9	9.1	2.8	0	0.9	0	0	0	1.7	0	3.1	5.3	1.2	0	1.3	3.2	5.0
0	2.2	0	1.4	0	0	0	0	0	2.0	0	5.0	0	1.6	0	4.8	1.2	3.9	0	31.7
0	2.2	0	2.9	6.1	13.9	0	0	0	0	1.6	0	0	0.8	0	4.8	0	1.3	0	16.7
1.2	2.2	0	1.4	6.1	5.6	0	0	0.9	1.4	3.2	5.0	0.9	3.1	0	0	4.8	12.7	5.4	8.3
0	0	0	1.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.6	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0.9	3.9	0	1.2	1.2	0	0	0
14.8	15.5	14.1	14.5	18.2	6.9	9.1	3.6	10.9	3.4	4.8	6.7	16.7	4.7	18.7	4.8	9.6	3.9	7.5	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0	2.3	1.3	1.2	0	1.3	0	0
1.2	0	0	0	3.0	1.4	0	0	0	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	7.2	0	1.4	0	6.4	0	4.6	1.8	3.0	1.9	2.3	1.3	0	2.4	11.5	10.8	13.3
0	8.9	0	4.3	6.1	5.6	2.3	1.8	0	0	1.6	0	1.9	1.6	0	0	1.2	2.6	0	0
2.5	15.5	12.8	11.6	12.1	11.1	0	2.7	0	9.6	0	5.0	0	9.3	2.7	11.9	0	12.7	0	0
2.5	8.9	1.3	8.7	3.0	12.2	0	6.3	0	4.1	0	5.0	0.9	21.8	0	20.2	0	18.0	4.3	5.0
4.1	11.1	16.7	1.4	21.2	1.4	11.4	0	15.4	0	22.2	0	4.6	0	1.3	0	4.8	0	2.2	0
0	0	15.4	2.9	9.1	0	2.2	1.8	4.5	0.6	4.7	0	19.4	3.1	6.7	0	16.7	1.3	9.7	0
0	0	0	0	0	0	2.3	0.9	1.8	0.7	0	0	0.9	0	2.7	0	0	0	1.1	3.3
6.2	2.2	2.6	1.4	0	0	9.9	2.7	12.7	6.1	7.9	1.7	6.5	1.6	16.0	4.8	16.7	2.6	1.1	0
0	0	0	0	0	0	15.0	3.6	0	0.6	1.5	1.6	1.9	1.6	0	1.2	0	1.3	0	1.7
3.7	0	0	0	0	0	0	6.3	0	0	0	0	0	2.3	0	0	0	2.6	0	0
0	0	0	0	0	0	0	2.7	0	0	0	0	0.9	0.8	0	4.8	1.2	3.9	0	0
0	4.4	1.3	1.4	0	1.4	0	1.8	0	0.6	0	0	0.9	5.4	0	3.6	0	1.3	0	5.0
2.5	0	1.3	1.4	3.0	1.4	4.6	16.2	9.4	8.2	23.8	18.3	4.6	4.7	2.7	10.7	9.5	7.7	5.4	10.0
0	0	0	1.4	6.1	0	0	0	0	0	0	0	6.5	1.6	0	0	0	0	0	0
13.6	13.3	10.3	7.2	18.2	8.3	12.1	5.4	15.3	7.5	15.9	0	20.4	14.7	40.0	29.8	27.4	5.1	46.3	0
2.5	13.3	1.3	4.3	3.0	1.4	0	3.6	2.7	1.4	1.6	6.7	0	0	0	0	0	0	0	0
81	45	78	69	33	72	132	111	111	147	63	60	108	129	75	84	84	78	93	60

そこで、次の4つの指標を選んで、それに当てはまる者が、地区別・学年別・男女別に何人いるかを示すとTable 8の如くなる。

イ) 「ほしいもの」が主として1問1.2.の「鉛筆・けしごむ・帳面の類」の項に入る答であり、「したいこと」が主として2問1の「手伝いや仕事」の項に入る答であるもの。

ロ) 「したいこと」が主として手伝いや仕事で占められていて他には別に特徴のないもの。

ハ) 「ほしいもの」が主として鉛筆・けしごむ・帳面の類であり、他には別に特徴のないもの。

ニ) その他、定型的ではないが、以上の特徴が混じっていたり、3問において1問2問に対する答えの反復があつたりしたもの。

・下(担任教師の判定による)に分けて沢内地区の分を示すと Table 11 の様になる。

Table 10

要 求 調 査 B

(1) えんぴつや帳面。色々な本。ぼうしやかばん。きものやようふく。机や本箱。家や部屋。お金。まりやおはじき。野球やバレーの道具。ピアノやオルガンやハーモニカ。食べ物。さいほうの道具。ラジオ。テレビジョン。カメラ。双眼鏡。映写機(映画をうつすきかい)。幻燈機。汽船やボート。汽車や自動車。飛行機。ジェット機。ヘリコプター。忍術やまほう。

(2) 手つだいや仕事。勉強。かくれんぼやおてだま。野球やバレーボール。自動車や汽車の運転。飛行機のそうじゅう。運動会や遠足。おどり。音楽。さいほう。いけばな。日本めぐり。外国めぐり。発明。探検。冒険。

(3) おみせやさん。大工。お百姓。汽車や自動車の運転手。床屋や美容師。医者。かんどふ。議員や大臣。先生。学者。船の船長やきかんし。スポーツ選手。アナウンサー。映画はいゆう。音楽家。画家。王子様や王女様。まほう使い。

(漢字にはすべてかなを付けてあり、また一通り読んできかせた)

Table 11

要求調査をB票を加えて2回行った時の「僻地反応」的特徴の変化と学業成績との関係

(沢内地区)*

成績	特 徴 の 消 長	男	女	計
上	無くなったもの	0	0	0
	減少したもの	0	0	0
	そのまま残つたもの	1	1	2
中	無くなったもの	3	3	6
	減少したもの	0	3	3
	そのまま残つたもの	1	2	3
下	無くなったもの	0	0	1
	減少したもの	2	4	6
	そのまま残つたもの	0	2	2

* この調査では、B票を回収した後に2度目のA票を渡すのだが、入口部落においては、B票を見せながら2度目のA票に筆答させたので、条件の均一のために本表においては沢内地区のみを出してある。

〔3〕 考 察

以上挙げた結果以外にもまとめるべき資料は残っているのであるが、今回は前述の結果について考察を加えて置く。

(1) 先ず一般的な要求調査(A票)の結果を Table 5・6・7について概観すると、色々なことに気づくのであるが、僻地と都会とを比較して見て目につく傾向の一部は次の点であろう。

a 第1問「ほしいもの」のところで「鉛筆・けしごむ・帳面の類」の項の回答が僻地では学年の低い方に、また男より女に多く見られ、これらは特に鬼首地区の4年生に著しい。このような反応は都会では極めて稀である。

b 第2問「したいこと」のところで、「手伝いや仕事」の項の上に同様の傾向が認められる。家の仕事の手伝い、子守りとか御飯たきとかたき木しよとかいう様な仕事であるが、これらの反応は僻地を通じて見られる傾向であつて、やはり学年の低い方に、また男より女に多く認められる。都会にも少しはあるが僻地との差は一見して明らかである。

c 同じく第2問「したいこと」で「勉強」というのが僻地を通じて多く認められる傾向であり、都会はそれ程でない。

d 第3問「なりたいもの」のところで、第2問「したいこと」の答、即ち「手伝いや仕事」「勉強」を反復しているものやその他第2問の答に入るべきものが僻地の学年の低い方に屢々認められることである。

(2) 然らば我々はこの様な事実についてどう考えたらよいであろうか。始めに問題にした様に、我々の「要求調査」は設問の形式としては、3つの質問共、答を考えて反応する上にあらゆる自由度を与えているのであるが、それが個々の子供達自身の課題として取り上げられる時には、当然のこととして回答場面のもろもろの規定条件によつて制約せられて来る。この調査が学校の教室において行われたことも必ず念頭に置かねばならないが、子供の側の個体的条件として、僻地に育ち僻地の学校に通っている子供達では、僻地の自然的・地理的条件、文化的条件、経済的条件、教育的条件等に規定せられる生活の体験が彼等の反応を制約しているであろうことが考えられる。

前に挙げた「鉛筆・けしごむ・帳面の類」は彼等がふだん持つており、用いており、或いは少くとも身近かに目撃しているところの特別取り立てて云う程のことな

い品物であり、「手伝いや仕事」は彼等がふだん家で毎日やっていること、或いは少くとも身近かに目撃していることである。それならば先ず前者においてほしいものに「えんぴつ」や「けしごむ」を書く子が現実にもその様な品物に不自由しているのであるか。この種の反応の最も多かった鬼首地区*の4年生の例でも、担当の教師に尋ねた結果ではその様なことは認められなかった。また後者の場合、子守りやたき木しよ等は子供達にとって楽しい仕事というよりは、むしろ辛い仕事であるが或いは他の仕事に比べて望ましいという程度の仕事であると考えられる**。しかし一般の農村に認められる様に子供達を家族労働力として小学校の低学年時代からしつけて行く傾向は僻地の山村等において特に著しい。これは生産機構の難条件から、主要労働力としての父母達の手の及ばない労働面を分担せねばならない現実から来る。そしてこの様な山村の子供達は「無感覚のままに肉体労働に参加」しているのであつて、平野村の子供にややもすると見受けられる様な親から与えられる仕事に対する不満や仕事からの逃避が、山村の子供達には余り見られないと云われる***。

つまり、前述の回答に見られる「鉛筆・けしごむ」反応や「仕事」反応は、僻地の子供達にとって空間的・心理的に身近な経験の再生であり、いわば心理学的な生活空間****の現実層において反応しているのである。ただしこれらの反応は仮定に立つものではなく身動的・習慣的なものの反復に過ぎないのであつて、思いめぐらす

活動が現実の生活からそれだけ自由でないことを示していると見られよう。ほしいものややりたいことの希望に限りなく思いを馳せ、自由にあれこれと考えて見るためには、生活空間の非現実的領域がゆたかに分化していなければならない。「何でも可能としたり」という仮定も、僻地の子供達の一部においては非現実層からの反応を解発し得なかつたのであり、この様な事実に反映される限りにおいては生活空間の未分化性というものが僻地の児童の心理的特性として把握せられるであろう。そしてこの傾向は高学年に至れば次第に消去せられるが、この特徴は女子においては男子よりも強くまた高学年まであとを引く傾向が認められるのである。(この点を見易くするためにTable 5・6・7の欄では女を左に掲げてある。)

然らばこの様な未分化性は精神発達⁵の立場から考えればどの様な意味をもつてであろうか。従来の研究から見ても、現実の世界と想像の世界とが一通り分化して来るのは小学4年頃からと考えられよう。例えば牛島氏は4・5年生になると「その視野は広くなり、自分の将来のことを色々と考える様になる」ことを指摘している*。我々の調査では、僻地児童の4年生においてはなお未分化な反応が少くない。このことは、低学年の僻地児童においては都会児童、更には一般の児童に対して精神発達⁶の面でかなりのずれがあることを示すとも云えよう**。

次にCに挙げた「勉強」をしたいという答が僻地児童を通じて目立つ点である。彼等のしたいことは「べんきよう」である。しかし、この「べんきよう」は一般的に見て大いに学業に精励して成績を上げようというのではなく、「べんきよう」とはつまり「学校へ行くこと」であるとえられる。僻地の子供達にとっては学校というものは楽しい所である。それは知的刺激を受ける勉学⁷の場であるだけでなく、山村においては簡単に行き来のできない家々から来る子供達の集まる交友の場であり、また僻地児童一般を通じて云えることは、何よりも先ず家庭労働から解放された憩いと遊びの場であるということである***。或る僻地の教師は云う、「町の子供達は授

* 我々の今回の調査地区の中で「僻地」的印象を最も強く受けたのは鬼首の分校区域であつた。

** 我々の今回の調査では希望する理由を書かせていない。ただ子供達がその様な仕事を進んでしたがるということは耳にしなかつた。ここで参考になるのは福尾氏の農山村児童の働きの調査において得られている子供達の答えである。いやな仕事、好きな仕事、並びにその理由の調査であるが、そこでは子守りやたき木しよいは肩が痛くなるからいやだという答えがある一方、子守りは遊ぶによいから好き、たき木しよいは途中で遊べるから好き、という答えも得られている。福尾武彦、農山村の教育、社会学講座4、昭28、pp 69, 71

*** 文部省、へき地教育資料1、イリの村の生活とことども——山村社会の形成過程を見つめて——、昭29、p. 277

**** K. Lewinによつて用いられ始めた心理学における生活空間(life space)の概念である。生活空間は現実的水準の領域だけでなく空想や想像の様な概念的空間としての非現実的水準の領域をも含んでいる。現実的領域では不可能な移動も非現実的領域では可能である。そして夫々の領域にまた色々な部分領域の分化があり得る。従つて現実・非現実の両水準の關係は三次元的に表現せられる。

* 牛島義友、小学生の心理、昭27、p. 110。そこで挙げられている資料には次の様な手記(回想記録)がある。「この時代の特筆すべきことは、前の時代にはあくまで自己の身辺のみの生活に没頭していたが、この時代には将来の希望に胸の火を燃やしたのである(以下略)」(女、3・4年)

** 我々の調査した僻地の子供達が都会児童に比べて知能的発達において一般に遅れていることはIIの中島の報告に示されている。

*** このことは一般の農村においても云われる(次頁左註*)が、僻地の子供達にとっては特にそうである。

業が済むと嬉々としてサツと引上げるが、ここの子供達は授業が済んでも仲々家へ帰ろうとしない」と。このことは父兄の側からの学校観にも対応する。これは教育に無理解な父兄の声として挙げられている例であるが、僻地の或る父兄は云う、「大きなものが学校へ行つて遊んでいる、全く人手不足の農家にとって惜しいことだ」と**。教育に対する父兄の無理解——少くとも無関心——は多くの僻地校教師の歎くところであり、その由つて来る歴史的・地域社会的な事情は存する訳であるが、我々は「学校」というものが僻地の子供達にとって意味する機能を先ず直視せねばなるまい。そしてそれは都会の学校の場合と余程違う趣きをもつのである。

最後にdに指摘した第3問〔なりたいもの〕と第2問〔したいこと〕との混乱であるが、これは内容的関係もあり一応無理からぬ面もある。しかし Table 7 が示す如く、この様なことは都会の子供達においては殆んど見られなかった。その点からしても、これも僻地の子供達の未分化性の一面を反映するものとも考えられよう。

(3) 以上の様な考察にもとづいて、我々はa・b・d即ち生活空間の未分化性を示すものと考えられる反応を仮に「僻地的反応」と呼んで置くことにした。発達的には低段階の反応と考えられるものである。

然らば、個々人について見て、この様な反応を特に特徴的に示す子供は僻地においてどの程度おり、また都会ではどうか。前掲の Table 8 がそれを示す。明らかにその様な子供は僻地に多い。僻地の各地区***と都会との間には有意の差が認められる。

次にこの様な反応を特徴的に示す子供達は学業成績の面ではどうか。Table 9 がそれを示す。一応予想せられる様に成績の「中」から「下」の者に多い****。しかし「上」の者もない訳ではない。学力というものの中に知識としてのヴォキャブラリーの如何が含まれているとするならば、その様な知識が直ちにこの様な調査の

反応語の上に現れて来るものではないこと、それよりも生活空間に規制せられる反応の態度の方が物を云う場合のあることを、成績上位の者の存在が語っている様に思われる。

それならばこの様な特徴を示す子供達は、反応の場において他に色々な回答例のあることを予め知らされたらどうか。この点を検討したものが特にB票によるテストを加えた調査である。この調査は、「僻地的反応」において特徴的である子供達は、「ほしいもの」や「したいこと」や「なりたいもの」で他の一般の子供達が色々挙げている様な反応のあり得ることを知らないからではないかという疑問にも答えるものである。我々は沢内地区の4年生についてA票による調査を行つた翌日、B票によるテストを実施し、その直後に再びA票による調査を行つて見た。その結果は Table 11 に示されている。2回目には「僻地的反応」の消滅または減少した者も確かにあるが、一方、依然として変わらない者もあり、それは、成績上位の者にも認められるのである。このことは、僻地児童固有の生活空間の規定性の強さを更に物語るものとする。*

(4) 以上で今回の考察を終るが、我々の考察の対象とした資料は決して十分なものではない。我々は各地域に出向き、直接子供達に逢つて調査したのであり、従つて結果の考察もそれらの地域や子供達から受けたものものの印象を背景として行われている。しかし地区毎には僅か数日宛の滞在であつて、接触面も限られており、観察の不徹底や誤りもあろう。質問紙法による調査の限界もある。また僻地の子供達を知るためにはその家庭生活・社会生活の面をも更に突込んで調べねばならない。**僻地の子供達の生活空間のより精密な分析は我々に残された今後の課題である。

(5) 最後に今回の調査並びにその考察を通じて我々は教育心理学的に如何なることを反省せしめられるであろうか。

i 僻地の子供達に対する生活指導や学習指導は彼等の心理学的生活空間の特殊性を考慮してなされねばならないということである。その考慮なしに都会を標準とする指導技術や指導内容に倣つたものをそのまま適用することは、学習者の現実から遊離するおそれがあるであらう。

* 「仕事」反応は成績の上下に余り関係がなく、かつ固執せられる傾向を示した。

** その補いの一部として館岩地区においては面接法による家庭生活調査を行つた。その結果は、更に資料を整えた上で樋口によつて改めて報告せられる筈である。

* 牛島義友：農村児童の心理、昭21、p174。

** 北海道へき地教育振興会、へき地の教育事情、1昭29、p222。

*** 網地島地区は反応語の一般的傾向と共にここでも他の僻地地区に比べて幾分趣きを異にしている。この点は、離島ではあるけれども遠洋漁業で発展している網地島の精神的風土が反映しているのではないかと考えられる。即ちこの地区は「閉ざされた世界」としての僻地的性格と、「開かれた世界」としての非僻地的性格との二重性格を持つ様に思われる。

**** Table 8 に含まれている様に、都会でも東京の4年生に3名、未分化反応の点で「僻地的反応」型の特徴を示す子があつた。調べて見ると3人共成績は下であり、家庭の生活程度は中以下であつた。

う。少くともそこには段階的な配慮を加えることが望ましい。

ii 直接経験の世界に著しい制約を受けている子供達を扱う僻地教育においては、視聴覚教具教材を大いに活用すべきである。しかしその場合にも前項の留意が必要である。

iii しかし我々は僻地の子供達の未分化性を常に前提として僻地教育の技術を論じようとするのではない。更に進んで僻地児童の生活空間を制約する条件の根源を衝き基本的対策を考え、子供達の閉ざされた心の窓を押し開いてやらねばならぬ。そしてその様な根本的な方途を講ずることが如何に容易ならざることであるかは、僻地の現場における我々の乏しい経験からも十二分に察せられる。しかしこのことに敢て言及するゆえんは、我々の

今回の研究も、せめてその様ないとなみを推進せしめるためのささやかな寄与ともなるならばという思いに励まされて続けられたものであるからである。

〔4〕 要 約

1 「要求調査」を通じての考察の結果、僻地の子供達と都会の子供達との相違の一面は心理学的生活空間の構造の相違、即ち分化度の相違に存すると考えられる。

2 僻地の子供の未分化反応は男よりも女に多く認められる。

終りに臨み東京の児童の資料を得るために尽力して頂いた東京都四谷第六小学校の小林博先生に心からの謝意を捧げる。

ABSTRACTS

RESEARCHES ON ISOLATED VILLAGE SCHOOL-CHILDREN

Institute of Educational Psychology, Tohoku University

[I] THE RESULT OF "NEED TEST" ON ISOLATED VILLAGE SCHOOL-CHILDREN

By Tsukata, Takeshi and Kubota, Masand

We studied the psychological life space of the children in isolated villages in the light of a "Need Test", a questionnaire by pencil and paper method.

The questions were directed to (1) what would you like to have, (2) what would you like to do, and (3) what would you like to be, *if whatever you wish were possible to be satisfied*.

Investigations were held in four remote parts of Tohoku district. The subjects, 777 pupils in total, consisted of 4th year and 6th year pupils of primary schools, and 2nd year pupils of junior high schools. 237 town pupils were examined in the same way for the purpose of comparison.

The result shows that the variability of village children's responses tends to be restricted to matters

familiar to them, despite the limitless possibility offered to their answering. For example, in the responses to the first question, we find many trivial articles, such as a "pencil", "notebook", "rubber eraser", which they do not miss at home or at school; and to the second question, many domestic tasks which they are actually doing as daily routine. Such tendency was more eminent in the 4th year children than in the children in upper grades, and more persistent in girls than in boys.

We interpret the result as showing that the life space of isolated village children is lowly differentiated; and their mental development is conditioned to delay.

[II] INTELLECTUAL DEVELOPMENT OF CHILDREN AND PRE-ADOLESCENTS IN ISOLATED VILLAGES

By Nakajima, Tsutomu

It has been reported by forgoing investigators that level of intelligence is generally lower than in

rural school children.

Our problem was to ascertain the level of